

第1回 地域連携推進会議 会議録

1 事業所名

社会福祉法人 三豊広域福祉会
地域支援センターまるやま

2 開催日時

令和8年4月10日（金） 10:00～10:30

3 開催場所

地域支援センターまるやま 相談室

4 開催目的

地域住民、関係機関及び利用者・家族との意見交換を通じて、まるやまの運営の透明性を高めるとともに、利用者の地域生活の充実と権利擁護の推進を図ることを目的とする。

5 出席者

- 【利用者】 ○○ ○○さん
- 【利用者の家族】 ○○ ○○さん
- 【地域の関係者】 ○○ ○○さん
- 【福祉に知見のある人】 ○○ ○○さん
- 【事業所】 施設長、入所在宅課長

6 議題

- (1) 地域連携推進会議の趣旨について
- (2) 地域支援センターまるやまの基本方針について
- (3) まるやまの事業概要・サービス概要について
- (4) 入所者の状況について
- (5) 意見交換・質問等
- (6) その他
- (7) 施設見学

7 議事内容

- (1) 地域連携推進会議の趣旨について以下の内容で説明を行った。
 - ・地域との関係づくり

利用者が地域の一員として安心して暮らせるよう、繋がりを深める。

・施設への理解促進

地域住民に活動を知ってもらい、相互理解を図る。

・透明性・質の確保

外部の目を入れることで、閉鎖的になるのを防ぎ支援の質を向上させる。

・利用者の権利擁護

虐待防止や意思決定支援が適切に行われているかを確認する。

(2) 地域支援センターまるやまの基本方針について以下の内容で説明を行った。

- ・利用者一人ひとりの個人としての尊厳を重んじるとともに、その環境や年齢及び心身の状況に応じた個別支援計画に基づき、将来を見通した支援に努める。

(3) まるやまの事業概要・サービス概要について以下の内容で説明を行った。

- ・生活介護：利用定員 50名
- ・施設入所支援：利用定員 30名
- ・対象者は、常時介護を要する障害の程度が比較的重い方です
- ・主に建物内で日中の活動(創作活動や体力づくり、日常生活支援)
- ・夜間における入浴、排泄及び食事等の介助
- ・日常生活上の助言や相談、支援

(4) 入所者の状況について以下の内容で説明を行った。

- ・開所から24年目を迎え、利用者も重度化、高齢化している。
- ・平均年齢〇歳
- ・男性最年長 〇歳、女性〇歳
- ・平均支援区分 〇
- ・成年後見利用 〇名

(5) 意見交換・質問等

【利用者の家族】

成年後見の話が出ましたが、後見人になられている方は家族の方ばかりなのではないでしょうか。

【事業所】

家族の方でなられる方も多くいらっしゃいますが、社会福祉士や、社会福祉協議会の職員さんをお願いされている方もいらっしゃいます。必要であれば、相談員に相談されてみてはいかがでしょうか。

【利用者の家族】

参考にさせていただきます。

【地域の関係者】

入所利用者さんは、料金の支払いとかはどうされているんですか。

【事業所】

入所の利用者さんは、皆さん年金をもらわれていますので、実費負担分をその範

圏内でいただいております。

【地域の関係者】

わかりました。

【利用者】

毎日、作業をがんばっています。主に袋入れをしています。工賃をもらったら、大好きなカツカレーを食べに行きたいです。

(6) その他について以下の説明を行った。

地域連携推進委員として、施設等を訪問していただくことで、地域と施設等の繋がりが生まれ運営の透明性が確保され、利用者へのサービスの質を高めることに繋がります。

また、施設の職員にとっても地域の方などに利用者やその生活の様子を知ってもらう良い機会であると同時に、地域連携推進委員様からの質問等が新たな気づきとなり、運営の改善につながる場合もあると思います。

一方では、利用者の中にはプライバシーに関することを他者に知られたくない方や、居室等を見られたくない方がいらっしゃいます。知り得た情報を施設や利用者へ無断で他者に漏らすことがないように格別のご高配をお願いします。

(7) 施設見学について

議題終了後、施設内の生活介護の活動の様子を見学され、終了となった。